

訓練進行アナウンス

No. 1

アナウンス1

長久手会場内において、爆発音が確認されました。

アナウンス2

負傷者が発生した模様で、博覧会警備員により被災者を安全な場所に誘導するとともに、司令室に連絡をしております。

また、ボランティア救急救命士により負傷者の対応が行われております。

ボランティア救急救命士とは、愛知県のプロトコール運用教育修了者を対象にボランティア募集をした救急救命士のことで、博覧会会場内を巡回し、傷病者の対応を行い、救急隊に引き継ぐまでの間、救急活動を行います。

アナウンス3

司令室は、警備員から連絡された事故報告を万博消防署に通報し、出動要請を行いました。

また、司令室は、救急専門医に対しても事故発生について連絡し、現場へ急行するよう指示が出されました。

救急専門医とは、博覧会開催期間、救急医療に精通した医師が会場内に配置され、不測の事態に備え、会場内を巡回している医師のことで、事故等が発生した場合は、救急医療活動に関して指揮することとなります。

アナウンス4

協会指令室から出動要請を受けた万博消防署の指揮隊、消防隊及び救急隊、さらには瀬戸会場を警備する救急隊が事前計画に基づき出動いたしました。

災害現場では、現場指揮者の指揮のもと、指揮隊による状況把握、消防隊による負傷者の搬送、救急隊による救護活動が展開されます。

アナウンス5

愛知県警警察隊の出動です。災害現場の治安確保や捜査活動が展開されます。

アナウンス6

現場指揮本部は、指揮隊の情報収集や負傷者の発生状況から、通常の消防体制では対応が困難であると判断し、集団災害第2次をもって対応することを決定し、万博消防署本部に対して通知するとともに、近隣消防本部への応援要請と医療救護班の要請を行いました。

アナウンス7

万博消防署本部は、この地域を管轄する長久手町消防本部に対し、近隣消防本部からの応援出動と長久手町防災担当に対して医療救護班の出動を要請しました。

長久手町消防本部は、近隣の瀬戸市消防本部、尾張旭市消防本部、名古屋市消防局に応援要請を行うとともに、愛知医科大学附属病院、公立陶生病院などの医療機関や県救急医療情報センターに対して災害状況について連絡を行いました。

アナウンス8

万博消防署本部からの要請を受けた長久手町防災担当は、町長に災害状況を報告し、災害対策本部を立ち上げるとともに、県防災局に対して、被災状況の報告と医療救護の支援を要請しました。

アナウンス9

県防災局では、長久手町からの要請を受け、県レベルの支援体制が必要であると判断し、健康福祉部に対して医療救護支援を指示するとともに、災害対策本部設置の準備を開始しました。

アナウンス10

医務国保課では、県災害対策本部の指示により、県医師会、日本赤十字社愛知県支部に対して医療救護班の派遣を要請するとともに、愛知医科大学附属病院に対して現地コマンドーチームの派遣を要請しました。

また、県内16か所あります各災害拠点病院に対しても、重症患者の受け入れ体制に関して要請を行いました。

アナウンス11

長久手町消防本部の要請により、尾張旭市消防本部、名古屋市消防局から救急隊及び消防隊による応援部隊が到着しました。

こうした応援は、近隣市町村間の相互応援協定による場合のほか、愛知県広域消防相互応援協定や緊急消防援助隊による場合があります。いずれの場合も応援を受ける消防本部の指揮のもとにおいて活動が展開されます。

アナウンス12

県医師会により調整・編成された東名古屋医師会、瀬戸旭医師会及び名古屋市医師会の医療救護班4班が到着いたしました。

医療救護班は、救急医療活動を統括している救急専門医から災害状況、傷病者の発生状況等の説明を受け、傷病者のトリアージ及び医療救護活動を行います。

アナウンス13

県の要請を受けた愛知医科大学附属病院の現地コマンダーチームが県防災ヘリコプターにより現場に到着いたしました。

コマンダーチームとは、災害医療に関して高度な知識及び経験を有する医師を中心としたチームで、災害現場において現場指揮本部と連携しながら医療関係者を統括して、災害現場における医療救護体制を確立するための活動を展開します。

なお、この時点で、救急医療活動の指揮がドクターコマンダーに引き渡されます。

アナウンス14

県の要請を受けた日本赤十字社愛知県支部による医療救護班が到着しました。

日本赤十字社愛知県支部の医療救護班は、災害現場において、中等症及び重症患者を収容するためのテントの設営や医療処置の補助など、医療救護所の設置運営について活動を展開します。

アナウンス15

県の要請を受けた藤田保健衛生大学病院及び名古屋掖済会病院の県庁ドクターコマンダーが名古屋市のヘリコプターにより県庁に到着しました。

県庁ドクターコマンダーは、災害医療に関して高度な知識及び経験を有する医師で、県庁の災害対策本部において、災害現場の医療統括者であります現地ドクターコマンダーと後方搬送医療機関との連絡調整を図ります。

アナウンス16

現場指揮本部及び現地ドクターコマンダーからの要請を受け、重症患者を安城更生病院へ緊急搬送するため用意された名古屋市のヘリコプターが到着いたしました。

(発進後)

重症患者を乗せたヘリコプターが安城更生市民病院救急救命センターに向け飛び立ちました。傷病者の状態は、現地ドクターコマンダーから収容先医療機関へ説明されており、到着後直ちに必要な救命医療が施されます。

アナウンス17

現場指揮本部及び現地ドクターコマンダーからの要請を受け、重症患者を安城更生病院へ緊急搬送するため用意された県警ヘリコプターが到着いたしました。

(発進後)

重症患者を乗せたヘリコプターが安城更生市民病院救急救命センターに向け飛び立ちました。傷病者の状態は、現地ドクターコマンダーから収容先医療機関へ説明されており、到着後直ちに必要な救命医療が施されます。

講評

訓練は終了しました。

訓練参加者は訓練本部前に整列してください。訓練指揮本部長から講評が行われます。

講評終了後

以上をもちまして、危機対応訓練を終了します。

危機対応訓練模擬患者一覧表

No. 1

患者番号	災禍模擬 身体所見	観 測 血 圧 脈 拍 呼 吸	診 断	病 者	対応手当	送り出し順位	学 生	救急隊
1	右上胸挫創 展示品が倒れてきた	正常 正常 正常	右前胸挫創	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒	1	高山 勇加 患者	
2	左前胸挫創 窓ガラスが割れガラスが飛び出した 少バニニック	正常 正常 正常	右前胸挫創	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	任道止血 消毒		今井 裕代 患者	
3	喉の違和感(咳? 粉塵?)	正常 正常 正常	右前胸挫創	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	うがい		藤崎 美菜 患者	
4	四肢麻痺 転んだ	正常 正常 正常	四肢麻痺	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		加藤 夏美 患者	
5	建構 展示品が倒れてきた	正常 正常 正常	建構	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	湿布		川崎 沙緒里 患者	
6	右前胸骨折/右手挫傷 展示品が倒れてきた	正常 120/90 100 18	右前胸骨折/右手挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	シーネ固定 消毒		小林 美知子 患者	
7	四肢麻痺	正常 正常 正常	四肢麻痺	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		近藤 祥以 患者	
8	顔面擦過傷 大きな音がしたら、顔に何か当たったのか、構みが歪んだ。蹴ったら、少し血がこぼれた	正常 正常 正常	顔面擦過傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		北川 功二 患者	
9	熱と咳 災害とは無関係な病人	正常 正常 正常	熱	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	風邪薬		酒井 和恵 患者	
10	右前胸/上肢挫創 展示品が倒れてきた	正常 正常 正常	右前胸挫創	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		杉下 沙由美 患者	
11	左下腿/足挫傷 足もとが腫れて転んだ	正常 正常 正常	左下腿挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒 湿布		田中 真子 患者	
12	右手挫傷 大きな音とともに何かの手に当たった。熱かった 少バニニック	正常 正常 正常	右手挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		秋井 陽子 患者	
13	上肢擦過傷/左前胸挫傷 音とともに右に何か当たって転んだ	正常 正常 正常	上肢擦過傷/左前胸挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		高橋 慎吾 患者	
14	顔面挫傷/右手挫傷 音とともに右に何か当たった	正常 正常 正常	顔面挫傷/右手挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		成田 悠美 患者	
15	下腿挫傷/足挫傷	正常 正常 正常	下腿挫傷/足挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		早川 由佳里 患者	
16	四肢擦過傷	正常 正常 正常	四肢擦過傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		水谷 美南 患者	
17	両前胸挫創 展示品が倒れてきた	正常 正常 正常	両前胸挫創	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		水野 隼子 患者	
18	四肢擦過傷	正常 正常 正常	四肢擦過傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		志野 悠い 患者	
19	右手挫創/右前胸骨折	正常 正常 正常	右手挫創/右前胸骨折	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	シーネ固定 消毒	2	安藤 裕代 患者	
20	顔面挫創	正常 正常 正常	顔面挫創	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		波島 裕紀 患者	
21	両手挫傷	正常 正常 正常	両手挫傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		寺沢 遥子 患者	
22	両手挫創/熱傷	正常 正常 正常	両手挫創/熱傷	パビリオンの中で、模擬患者を担ぎながら「天井は崩れ落ちてきた。」と叫び、倒れてきた。	消毒		長友 礼奈 患者	
23	顔面擦過傷 向かが倒れた	I-1 90/60 110 22	顔面擦過傷 (気道閉鎖)	呼吸が苦しいと訴えても気道の確保ができておらず、呼吸が止まり(呼吸停止)。酸素投与で元気に！メーキャップは派手さは不要。	気管挿管 精液 消毒		平野 悠美 家族	浜戸市消防本部
24	上半身擦過傷 向かが倒れた	I-1 90/70 120 24	上半身擦過傷 (30%)		精液 消毒		山本 清織 家族	尾道市消防本部

患者番号	受傷機転 身体所見	意識	血圧	脈拍	呼吸	診 断	区分	備考	処急手当	送り出し順位	学生	救急隊
25	両手挫創/熱傷	正常	正常	正常	正常	両手挫創/熱傷			消毒		患者	
26	突然昏倒	正常	正常	正常	正常	突然昏倒			シーネ固定 消毒		患者	
27	右手挫創/右前腕骨折	正常	正常	正常	正常	右手挫創/右前腕骨折			消毒	3	患者	
28	顔面挫創 少マバニック	正常	正常	正常	正常	顔面挫創			消毒		患者	
29	四肢擦過傷	正常	正常	正常	正常	四肢擦過傷			消毒		患者	
30	眼球突出/鼻部損傷 少マバニック	1-1	正常	正常	正常	顔面挫創 眼球突出 鼻部損傷			消毒液 消毒 止血		家族	神戸市消防本部
31	ショック(冷汗 脈緩弱) 左前腕部挫傷/顔面挫傷	11-30	80/60	120	コロコロ	顔面挫創 出血 顔面挫傷		気道の確保や結露がなされなければくったり(誤挿)の危険あり。気管挿管 酸素 結露 消毒	消毒		家族	防災ボランティア
32	左下腿挫創	正常	正常	正常	正常	左下腿挫創			消毒		患者	
33	咽喉部の異和感 呼吸困難	正常	正常	正常	正常	アレルギー?/空気が入らない			経口経野		患者	
34	両手挫創	正常	正常	正常	正常	両手挫創			消毒		患者	
35	右前腕開放骨折	正常	正常	正常	正常	右前腕開放骨折			消毒 シーネ固定	4	患者	
36	膝傷	正常	正常	正常	正常	膝部打撲			消毒		患者	
37	両手/前腕挫傷	正常	正常	正常	正常	両手/前腕挫傷			消毒		患者	
38	眼球突出/鼻部損傷 少マバニック	1-1	正常	正常	正常	顔面挫創 眼球突出 鼻部損傷			消毒液 消毒 止血		家族	防災ボランティア
39	胸大脚挫傷	1-1	正常	110	22	胸大脚挫傷		結露を結露。	安静 結露		家族	名古屋市消防局
40	左前腕挫傷	正常	正常	正常	正常	左手/前腕挫傷			消毒		患者	
41	顔部外傷 バニック(母親)	正常	正常	正常	正常	顔部外傷			洗浄		患者	
42	左前腕骨折	正常	120/70	100	18	左前腕骨折			シーネ固定	5	患者	
43	両手挫創 熱傷	正常	正常	正常	正常	両手挫創/熱傷			消毒		患者	
44	四肢擦過傷	正常	正常	正常	正常	四肢擦過傷			消毒		患者	
45	左下腿骨折	正常	120/70	100	20	左下腿骨折		頸椎固定を恐ったら呼吸停止/死亡	シーネ固定		家族	名古屋市消防局
46	手足の麻痺 冷たくない、何かに突 き飛ばされた 首の後ろが痛い	正常	100/70	100	20	顔面挫創		頸椎(全身)固定 結露	頸椎(全身)固定 結露		家族	名古屋市消防局
47	冷汗/舌乾/呼吸困難/胸痛 急に苦 しくなった 胸が痛い	正常	120/70	90	不整	心筋梗塞		脈を結けても放置されれば、虚脱/心停止(不整脈 死)、向らかの手当てがなければ改善。 ニトログリセリン 血管収縮薬 酸素	消毒		家族	名古屋市消防局

患者番号	受傷機転	身体所見	意識	脈	血圧	脈拍	呼吸	診断	区分	備考	処置手当	送り出し順位	学生	救急隊
48	両手挫創		正常	正常	正常	正常	正常	両手挫創		輸液を感傷。	消毒		荒川知子	患者
49	左手/前腕挫傷		正常	正常	正常	正常	正常	左手/前腕挫傷			安静 輸液		坂谷川夕夏	患者
50	眼内異物		正常	正常	正常	正常	正常	眼内異物			消毒		羽根香	患者
51	顔部外傷 瞳孔不同 対光反射なし 舌根以下 脈皮質破綻		III-300 E1V1M1	180/120	120	26		頭部外傷	黄	家族別死！吸引 気道確保を行ななければ呼吸停止。死亡。救命は困難と判断し車載搬送エリアで経過観察。	洗浄	6	林真奈美	家族
52	ショック(冷汗) 呼吸困難/開放性気胸		I-1	100/70	120	35		開放性気胸/肺挫傷		3辺子ーピング(できればドレナージ/閉鎖)ができればぐっすり眠る。救急でドレナージ/閉鎖(ドレナージ)の後に、徐々に呼吸困難進行(悪化)、酸素だけでは対応できないこととする。(指示)	3辺子ーピング固定 ドレナージ 閉鎖 液 酸素		孕石幸代	家族
53	ショック(冷汗) 骨折 呼吸困難 肋骨		II-10	90/60	120	35		肋骨骨折/多発肋骨骨折		固定できなければ、ぐっすり眠る。救命は困難と判断し車載搬送エリアで経過観察。(指示)	胸郭固定 気管挿管 酸素 輸液		水谷美佐子	家族
54	両手熱傷		正常	正常	正常	正常	正常	両手熱傷			消毒		遠山真理	
55	両手挫創/熱傷		正常	正常	正常	正常	正常	両手挫創/熱傷			消毒		村吉砂也子	患者
56	右手打撲		正常	正常	正常	正常	正常	右手打撲			消毒		高島由香	患者
57	両手挫創		正常	正常	正常	正常	正常	両手挫創			消毒		河内真紀	患者
58	左前腕開放骨折		正常	正常	正常	正常	正常	左前腕開放骨折			消毒		鈴木尚美	患者
59	顔部外傷 瞳孔不同 対光反射なし 舌根以下 脈皮質破綻		III-300 E1V1M1	180/120	120	26		頭部外傷	黄	家族別死！吸引 気道確保を行ななければ呼吸停止。死亡。救命は困難と判断し車載搬送エリアで経過観察。	消毒 シーネ固定 気道確保 酸素		山本志穂	患者
60	ショック/呼吸困難/冷汗/頸静脈怒張 胸部打撲傷 一部開放創		III・100	測定不能	微弱	下精呼吸		心タンポナーテ		心臓破裂ができれば、劇的に改善、そのままなら徐々に悪化し死亡(指示)	酸素 輸液 心臓薬 刺 補助呼吸		山本由香	家族
													松山容子	家族

黄	計
8	60
6	46

松村美由樹	吉原美香
山口舞	相田あゆみ
山田薫	山口清子
山田真己子	山崎かおり
山本みつぎ	山田美加
吉田久美	山田英光子

担架班

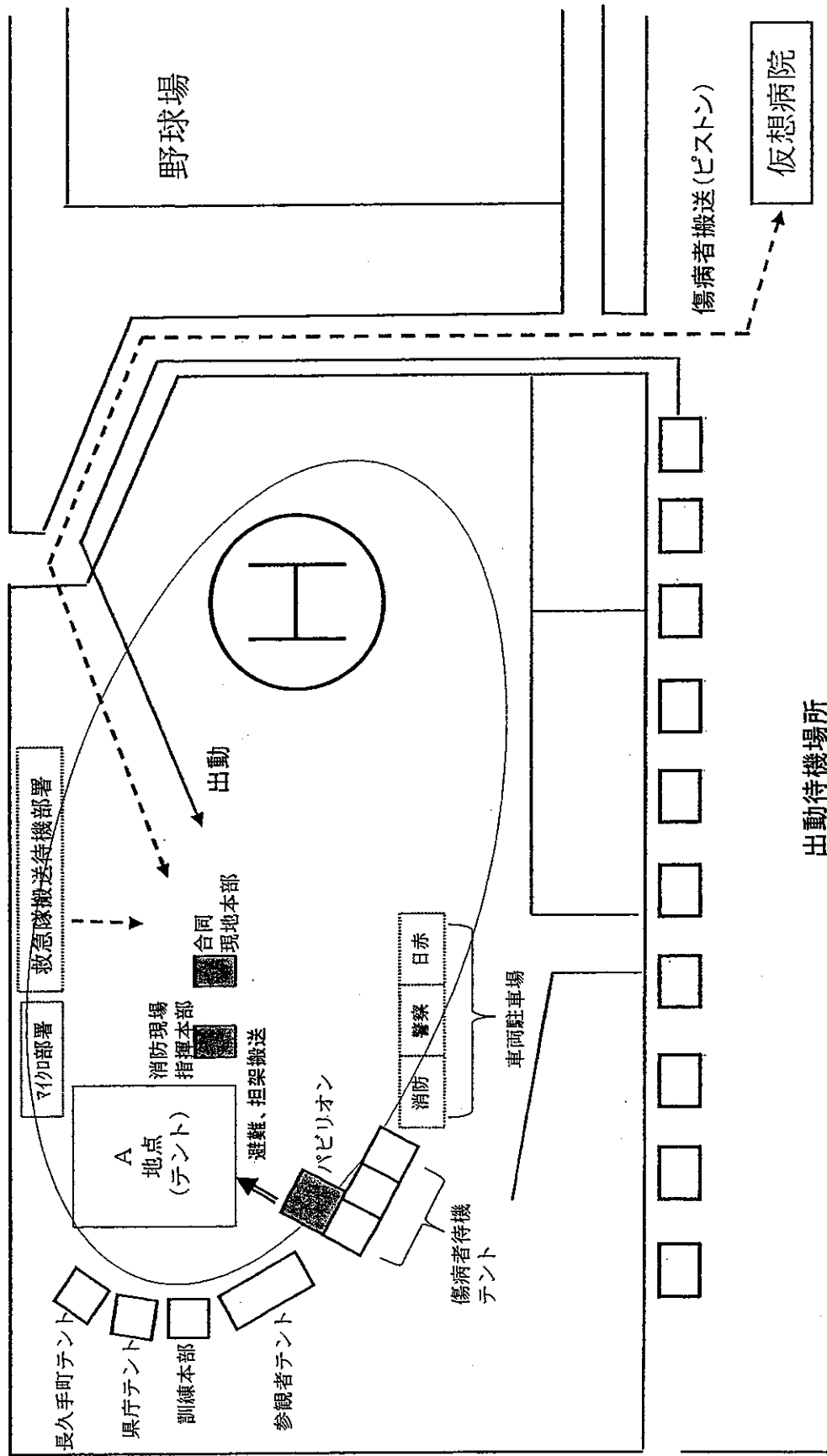
航空機フライト表

	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	12:00
愛知県防災ヘリコプター					(臨時ヘリポート) 日立オムロン ターミナル ソリユーションズ	10:53 発	10:58 着		(愛知医科大学グラウンド)				
名古屋市ヘリコプター					(臨時ヘリポート) 日立オムロン ターミナル ソリユーションズ	11:03 発	11:08 着		(愛知医科大学グラウンド)				
名古屋市ヘリコプター										11:35 着			
愛知県警察ヘリコプター												11:50 着	

(注意事項)

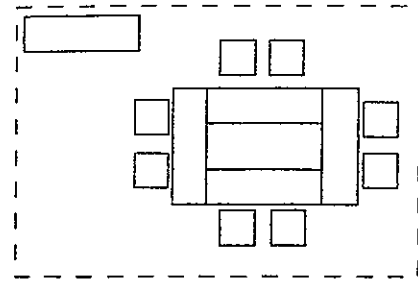
- 1 愛知県防災ヘリコプター及び名古屋ヘリコプターについて、日立オムロンターミナルソリユーションズ(尾張旭市)で訓練参加者を搭乗させ、愛知医科大学グラウンドのヘリポートまで搬送してください。
- 2 名古屋市ヘリコプター(2回目)及び愛知県警察ヘリコプターについて、愛知医科大学グラウンドにおいて後方搬送の重症患者を収容し、日立オムロンターミナルソリユーションズ(尾張旭市)まで搬送してください。なお、訓練参加者を下ろして終了とします。

訓練概要図 (愛知医科大学グラウンド)

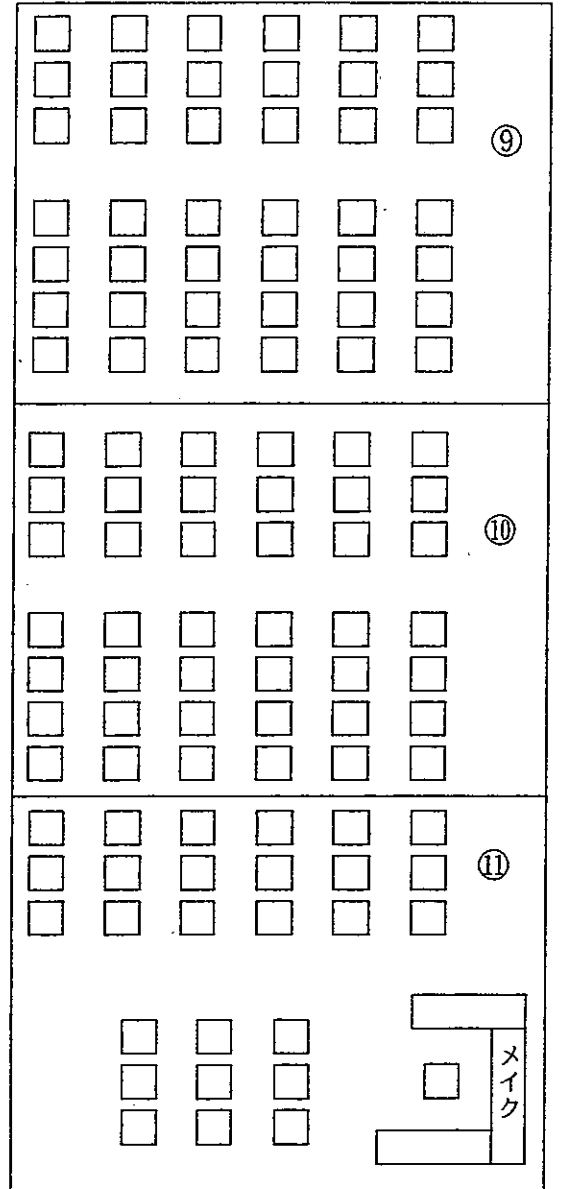


(駐 車 場)

⑧ 合同現地本部
(2間×3間)



⑨ ⑩ ⑪ 患者役待機用及びメイク用テント



日赤エアテント
(重症エリア)

軽症エリア

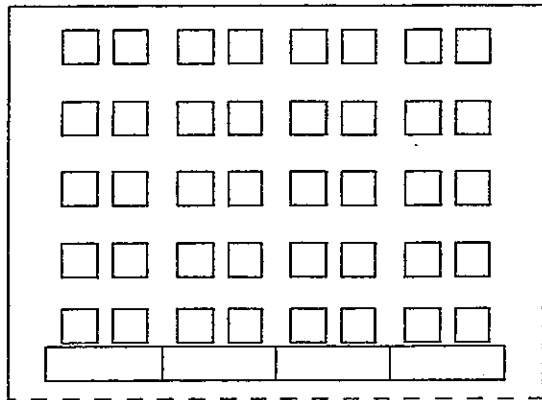
中等症エリア

トリアージエリア

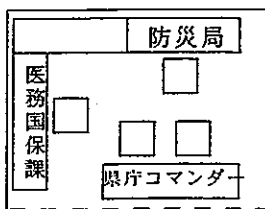
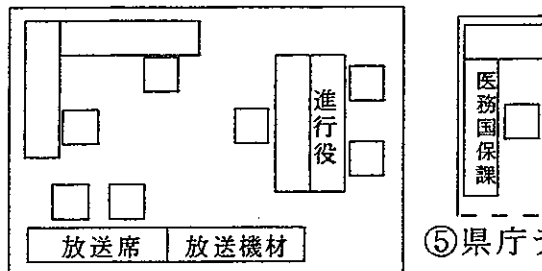
見学スペース

① 医療救護テント

(10m×10m×6)

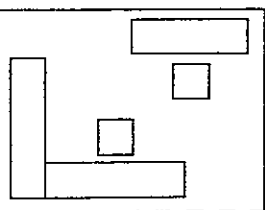


②③ 参観者テント (3間×4間)

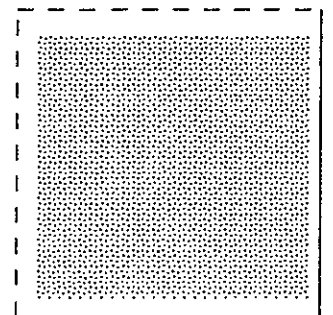
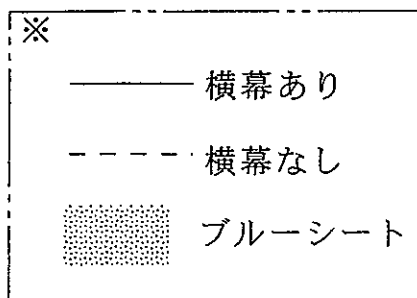


⑤ 県庁テント (1.5間×2間)

④ 訓練本部テント (2間×3間)



⑥ 長久手町テント (1.5間×2間)



⑫ 災害現場テント (6m×6m)

ヘリコプター調整結果関係

1 ヘリコプターとの連絡について

(1) 愛知県防災ヘリ、名古屋市ヘリ

長久手町消防本部による消防無線を使用する。(合同現地本部)

(2) 愛知県警察ヘリ

県警本部万博対策室による警察無線を使用する。(合同現地本部)

2 ヘリコプターの時間等の調整指示について

医務国保課・越山主任が進行状況を確認し、トランシーバーにより合同現地本部にフライト調整を依頼する。

3 ヘリコプターの誘導について

(1) 愛知医科大学グラウンド

担当 長久手町消防本部

(2) 日立オムロンターミナルソリューションズ

担当 尾張旭市消防本部

4 搭乗者の搬送等について

(1) 日立オムロンターミナルソリューションズからの搭乗者

医務国保課・山本主事の車両により移動

10時30分愛知医科大学を出発

対象者：コマンダーチーム及び県庁ドクターコマンダー

(2) 愛知医科大学グラウンドからの搭乗者

医務国保課・山本主事の車両により移動

11時55分日立オムロンターミナルソリューションズを出発

対象者：患者役2名

講評の隊列

訓
練
本
部
テ
ン
ト

□
訓練指揮
本部長

- ①愛知県職員
- ②愛知県警察本部
- ③マニュアル委員会委員
- ④愛知県医師会等
- ⑤長久手町職員
- ⑥長久手町消防本部
- ⑦瀬戸市消防本部
- ⑧尾張旭市消防本部
- ⑨名古屋市消防局
- ⑩尾三消防本部
- ⑪総合看護専門学校
- ⑫日赤

危機対応訓練細部事項（消防関係）

1 訓練の内容について

(1) 指揮隊

- ア 指定時刻に出動して現場指揮本部を設置し、災害状況の把握、災害種別の特定、傷病者収容テントの設置、応援要請等必要な判断及び措置をとる。
- イ 救急専門医と連携し、救急隊を指揮して初動時の傷病者対応にあたる。
- ウ 医師会医療救護班及び現地ドクターコマンダーチーム並びに日赤救護班と連携して傷病者対応にあたる。
- エ 現地ドクターコマンダーと連携して救急車による傷病者搬送及びヘリコプターによる重症患者の後方搬送体制を運用する。
- オ 消防部隊を運用して訓練の進行にあたる。

(2) 救急隊

- ア 現場指揮者の出動指示により出動し、初動時における傷病者に対するトリアージ及び応急処置を実施する。
- イ 医師会医療救護班が到着した後は、現場指揮本部の指示により現場救護所及び仮想病院間での傷病者搬送（ピストン搬送）にあたる。

(3) 消防隊

- 現場指揮者の出動指示により出動し、訓練概要図に示す位置に部署後は担架搬送隊を編成して傷病者搬送にあたる。

(4) 資機材搬送隊、マイクロバス隊

- 現場指揮者の出動指示により出動し、下命事項の処理にあたる。

2 集合等について

(1) 訓練中止の判断

- ア 雨天の場合、雨の程度によっては中止とする。
- イ 訓練の中止判断は、午前6時の段階で愛知県医務国保課長の判断による。
- ウ 訓練中止に関する問い合わせ先 ⇒ 090-5006-8511（医務国保課 越山主任）

(2) 集合時間及び事前待機

ア 部隊の集合

- 9時30分までに訓練概要図に示す位置に集合待機すること。ただし、尾張旭市消防本部及び名古屋消防局については10時00分までに所定の位置に集合待機する。

イ 傷病者役

- 訓練のため化粧等を施す必要があるため、9時30分までに看護学部3号館前に集合する。

3 訓練参加者の服装について

(1) 救急隊・航空隊

- 活動時の服装とする。

(2) 消防隊

- 防火衣（上衣は着用しない。）及び防火帽とする。

(3) 傷病者役

- 私服とする。（カッターで切断する場合があるので、廃棄が可能な服装を願います。）
- なお、現地での着替えを希望する方は、看護学部教室（N305）に用意してあるので、看護学部棟前にいる係員（医務国保課職員）に申し出てください。
- また、メーキャップは、看護学部教室（N303）で行います。

4 訓練参加者の駐車場について

- 別紙で示された駐車場に駐車してください。

危機対応訓練参加注意事項（医師会関係）

1 訓練の内容について

(1) 訓練会場への入場

県医師会で用意されたマイクロバスにより訓練会場に入場し、消防現場指揮本部前に参集する。

(2) 日赤が到着するまでの医療活動

ア 消防現場指揮本部において、災害状況、傷病者の発生状況等の説明を受ける。

イ 消防により確保されたトリアージ、軽症、中等症以上のエリアを分担し、医療救護活動を開始する。

なお、医療行為に関しては、現場で出来ることを行い、救急搬送に引き継ぐこと。

ウ 救急搬送する前に必ずトリアージタグ（1枚目）を回収すること。

なお、日赤が到着したあとは、赤十字防災ボランティアが補助してトリアージタグを回収します。

(3) 救急搬送

ア 現地Drコマンダー到着前

病院への搬送が必要な中等症以上の傷病者については、救急専門医と相談の上、緊急度の高い順に、消防現場指揮本部に対して救急搬送を要請する。

搬送にあたっては、緊急度別に次のとおり依頼する。

なお、軽症はマイクロバスで搬送するため、救急専門医と協議して、治療現場が混乱しないよう搬送依頼を行う。（10名程度）

① 重 症…愛知医科大学附属病院（仮）

② 中 等 症…公立陶生病院（仮）

③ 軽 症…山口病院、あさいクリニック、旭労災病院（仮）

イ 現地Drコマンダー到着後

現地Drコマンダーの指揮下において医療救護活動を行うこととなることから、現地Drコマンダーに対して報告、救急車等の要請を行う。

(4) 日赤が到着するまでの医療活動

日赤の医療救護班は、トリアージの支援、重症患者の対応を行うが、医療救護参加時に医療現場の現状と役割分担について調整を行う。（事前に役割が分担されているが、再度確認しあう）

2 集合等について

(1) 訓練中止の判断

ア 雨天の場合、雨の程度によっては中止とする。

イ 訓練の中止判断は、午前6時の段階で愛知県医務国保課長の判断による。

ウ 訓練中止に関する問い合わせ先 ⇒ 090-5006-8511（医務国保課 越山主任）

(2) 集合時間及び事前待機

ア 集合時間

8時45分までに訓練概要図に示す訓練本部前に集合する。

イ 訓練までの待機

県医師会（稲坂理事）で用意したマイクロバス内で待機する。

3 訓練参加者の服装について

(1) 医師

県医師会で定められた防災服とする。

(2) 看護師

防災服又は活動しやすい服装（訓練にふさわしいもの）とする。

- 4 訓練参加者の駐車場について
別紙で示された駐車場に駐車してください。

危機対応訓練参加注意事項（看護専門学校関係）

- 1 訓練の内容について
 - (1) 別添の危機対応訓練模擬患者一覧表及び役割分担表による。
 - ア 担架搬送
 - イ 被災者
 - ウ 被災者の家族
 - (2) 担架搬送担当は、9時10分から赤十字防災ボランティアにより講習会を行う。
- 2 集合等について
 - (1) 集合場所
地下鉄藤ヶ丘駅北（別添地図）
 - (2) 集合時間
原則として午前8時とする。
 - (3) 乗車時の注意
 - ア 座席数は40人であるため、立って乗車する者は、注意してください。
 - イ 1台あたり多くても50人を目途に限界としてください。
- 3 帰宅（地下鉄藤ヶ丘駅行き）
 - (1) 集合場所
大学本部前（別添地図）
 - (2) 運行時間
正午から12時30分（50人乗車後、順次発車）
- 4 訓練参加者の服装について
 - (1) 学生
 - ア 上 県から支給する長袖Tシャツ
 - イ 下 トレーニングウェア（泥、血のり（水性）等で汚れる場合がある）
 - (2) 教員
原則として防災服又は水防服
 - (3) 更衣場所
 - ア 女子 看護学部教室（N302）
 - イ 男子 看護学部教室（N305）
 - ウ メイキヤップ 看護学部教室（N303）
- 5 訓練中止の判断
 - (1) 雨天の場合、雨の程度によっては中止とする。
 - (2) 訓練の中止判断は、午前6時の段階で愛知県医務国保課長の判断による。
 - (3) 訓練中止に関する問い合わせ先 ⇒ 090-5006-8511（医務国保課 越山主任）
- 6 教員用の駐車場について
別紙で示された駐車場に駐車してください。